

# 平成20年度 島守小学校環境教育の実践

八戸市立島守小学校 校長 杉山 武

(平成21年1月9日作成)

## 1 地域の環境と特色ある学校づくり

島守地区は、四方山に囲まれた盆地の中にあり、八戸市民の森である不習岳を後ろに、閑静にして自然に恵まれた美しい所である。平成12年に島守地区全体が田園空間博物館に指定され、それに伴って「総合情報館朝もやの館」「ホテル水路」「散策の道『龍興山』『古坊』」「島守館農園」等が整備された。また、本校にあっては平成13年に水車小屋・小川、15年には炭焼き小屋がPTAや地域住民の手によって造られた。本校は、このような環境と地域の教育力に支えられながら、環境の特色を生かした“楽校づくり”をめざして取り組んでいる。

## 2 環境教育の目標

一人一人の子どもが環境と人間とのかかわりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことにより、自ら環境保全に主体的に取り組む態度育成を図る。

## 3 今年度の取り組みから

- 自然に対する豊かな感受性や、環境に対する関心を高める。



・校内研一般研：講師に野鳥の会の関下斉氏を迎え、自然観察の仕方、学校園小川等の教材化の仕方について研修し、教師自ら、さらに授業力を身に付けて臨むことをめざした。

### ・4学年総合的な学習「古里川探検」

「きれいな川か汚れた川か」をテーマに、川に棲む水中生物や魚とりを体験して追究した。



### ・3学年「そばづくりに

#### チャレンジ

「そばが、なぜ名産品かをさぐる」をテーマに畑の種まきから

収穫、水車や石臼での脱穀粉づくり、そばの試食までを体験した。土壌や気候、自然を生かした道具の使い方そして調理等を地域のボランティアの方々の協力をいただいて、探求した。



- 環境保全のための実践的な活動を通して、環境への責任ある行動がとれる。



・世増ダム見学と水循環学習そして植樹体験（4～6学年・社会科・総合的な学習）：三八地域県民局地域整備部河川砂防課主催「森と湖に親しむつどい」に参加し、ダムの役割、水の大切さを学び不習岳にナラ・栗等を植樹させていただいた。自然と自分たちの生活のつながりを理解し、環境保全に意欲をもった。



・6学年総合的な学習・「明るい未来を求めて」・理科：「自然にやさしい発電をさぐる」をテーマに、電池・コイル・太陽光、本校「島守発電所」での水力による発電実験を体験し、未来の環境を考えた。

### ・5学年総合的な学習「有機農法の米づくり」

地域や学年PTAの協力を得て、有機農法での米作りを体験し、害虫・雑草等の問題解決をしながら知恵や技術を学び、環境や体に良い農業を考えた。収穫感謝祭で、学習の成果を発表し、地域や保護者の方々に思いを伝えた。

